

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 607

事務事業名称	第3プラント施設運営業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1988(S63)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、騒音規制法、下水道法・枚方市下水道条例、枚方市公害防止条例、水質汚濁防止法、大阪府生活環境の保全等に関する条例、ダイオキシン類対策特別処理法等				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	家庭から生活ごみ等を排出する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ごみの適正処理及び安定性を確保できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適正な分別・収集からなる適正処理を実現し、計画的かつ安定的な施設の保全及び維持管理が行われている。				
事業概要	<p>処理施設の概要                      名称:穂谷川清掃工場                      所在地:枚方市田口5丁目1番1号                      第3プラント(焼却処理能力:200t/日、昭和63年3月竣工)、排水処理施設(処理能力:402t/日、昭和56年3月竣工)、動物焼却炉(焼却処理能力:50kg/時、昭和57年3月竣工)</p> <p>第3プラント内のデータ処理設備、電気設備、非常用発電設備等各種機器の保守点検を行う。第3プラント、動物焼却炉、排水処理設備、井戸設備の定期補修工事を行う。                      第3プラント、排水処理設備等(保守点検委託を行っている機器以外)の点検・修理を行う。                      公害関係の分析調査及びごみ質分析を行う。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		第3プラントが適正に維持管理、運営されている。				第3プラントの施設保全や保守点検等を行う。				
指標設定	指標説明	修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				点検日数				
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	100以内	100以内	100以内	100以内	100	249	219	219
	達成度					101%				

		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
ロジックモデル②			市内域の一般ごみを適正に処理できている。	第3プラントにより、市内域の一般ごみを焼却する。
指標設定②	指標説明		受け入れ焼却ごみを適正に処理できた割合【算出式:処理量/搬入量×100】	焼却処理量
	指標種類		増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値		単位 %	単位 t
	目標(見込み)		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績		100 100 100 100	37,417 37,041 36,665 36,290
達成度				111%
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
ロジックモデル③			動物の遺骸が適正に処理できている。	動物焼却炉により、動物の遺骸を焼却する。
指標設定③	指標説明		受け入れに対して適正に処理できた割合【算出式:処理量/搬入量×100】	動物の遺骸焼却受入れ件数
	指標種類		増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値		単位 %	単位 件
	目標(見込み)		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績		100 100 100 100	100 2,200 2,200 2,200
達成度			100%	87%
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
ロジックモデル④			不燃残渣が適切に処理されている。	焼却灰・飛灰及び資源化した後に発生する不燃残渣を処理する。
指標設定④	指標説明		不燃残渣の適正処理率【算出式:処分量(最終埋立)/処理量×100】	不燃残渣処理量
	指標種類		減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値		単位 %	単位 t
	目標(見込み)		R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績		100 100 100 100	100 100 0 0
達成度			200%	

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	7.63
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	82,159	69,626	61,116		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	82,159	69,626	61,116		
	物件費計	743,107	739,558	678,439	680,669	99.7%
	歳出計	825,266	809,184	739,555		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	3,500	0	6,400	7,800	
	その他	29,556	31,523	35,442	38,371	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	33,056	31,523	41,842	46,171	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	710,051	708,035	636,597	634,498	

## 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。これは、東部資源循環センターと穂谷川資源循環センターのごみ処理計画を調整し、計画的な炉の停止を行い発電量(売電量)の増加を見込める効率的かつ効果的な運転管理に努めた。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ごみ処理に関する公害関係法、廃棄物関係法令に定める基準を遵守し、第3プラントで一般ごみを適正に焼却処理し、発生する残渣物を適正に処理する。令和7年度末まで安定稼働に努める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 608

事務事業名称	穂谷川資源循環センター施設管理業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	申請手続き及び持込ごみ等で施設を利用する市民。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	穂谷川資源循環センターを利用する市民が、安全に利用できるよう施設保全や保守点検を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	穂谷川資源循環センターを利用する市民が、施設を安心して安全に利用できている状態。				
事業概要	<p>施設の概要                      名称:穂谷川資源循環センター(焼却施設を除く)                      所在地:枚方市田口5丁目1番1号 敷地面積:38,941㎡                      主な施設:管理棟(執務室及び作業員控室、昭和49年3月竣工、鉄筋コンクリート造3階建、建物面積2,382㎡)、公用車庫(昭和49年12月竣工、鉄骨造耐火木構造平屋建、建物面積1,208㎡)、旧管理棟(昭和40年3月竣工、鉄骨造2階建、敷地面積232㎡、平成25年3月に改築し、同年4月から、リサイクル施設「ひらかた夢工房」として使用)等。</p> <p>穂谷川資源循環センター敷地全体の環境美化及び、管理棟の日常点検(警備・清掃・緑地帯管理等)、法定点検(火災報知器点検・受水槽高架水槽点検・空気環境測定)、敷地内の建物の点検や部分補修などを計画的に行う。                      小学校の環境教育および企業等の環境研修として、施設見学の受け入れを行う。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						穂谷川資源循環センターが適正に維持管理されている。				穂谷川資源循環センターの施設保全や保守点検等を行う。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				補修工事、保守点検業務等(委託含む)の執行率			
	指標種類					単位 %				単位 %			
						減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100以内	100以内	100以内	100以内	100	100	100	100
達成度					94%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	7.60
再任用	2.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	85,109	92,930	71,657		
	会計年度任用職員	123	0	640		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	85,232	92,930	72,297		
物件費計	79,467	64,068	47,139	55,030	85.7%	
歳出計	164,699	156,998	119,436			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	22,500	23,800	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	22,500	23,800	
一般財源（物件費に充当されるもの）	79,467	64,068	24,639	31,230		

### 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定どおりであった。昭和49年に開設した管理棟においては、今後、修繕料・補修工事費が増加する傾向である。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	管理棟を含めた老朽化している穂谷川清掃工場敷地内の施設維持管理や環境美化を適切かつ効率的に行うため、穂谷川清掃工場職員の技術力を活かしていく。関係法令を遵守し、施設の保全や保守点検を適正に行う。委託業務による適正処理・管理を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	学校給食牛乳パックリサイクル啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小・中学校の学校給食で牛乳を飲む全児童・生徒			
	サブターゲット	小・中学校の学校給食で牛乳を飲む全児童・生徒の保護者			
	ターゲットが抱える課題	焼却処理であったものを資源物としていくが、資源化できる物として適正に処理(破碎洗浄)する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	リサイクルの必要性を周知していくための手段(見える化)が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	清掃工場へ搬入される学校給食牛乳パックについて、焼却ではなく適正な処理(破碎洗浄)を行い資源化(再生)することで、焼却ごみの削減・リサイクルの意義の見える化を行い全児童・生徒やその保護者にも知ってもらいなど環境教育の充実化を図り、ごみの減量化や地球環境問題の取組(カーボンニュートラル)につなげる。				
事業概要	令和4年4月から学校給食の牛乳パックは自治体で処理しなくてはならなくなった。これにより環境部減量業務室によって各学校から回収し穂谷川清掃工場へ搬入した給食牛乳パックについて、施設管理室(穂谷川清掃工場)に設置する破碎洗浄機で破碎・洗浄し、公民連携(協定)に基づき製紙会社に運搬することで段ボールなどにリサイクルを行う。また、給食牛乳パックを清掃工場で破碎・洗浄する工程や製紙会社で再生される工程の動画を作成し、清掃工場見学時に視聴してもらい、焼却ごみ削減の取組の見える化を行うなど環境教育の充実を図っていくと併にカーボンニュートラルを推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		適正処理し資源化した物(牛乳パック)を公民連携(協定)により運搬する。				受け入れた給食牛乳パックを適正に処理できている。							
指標設定	指標説明	適正処理し資源化した牛乳パックの搬出量				受け入れた給食牛乳パックに対し、適正に処理できた割合 【算出式:適正に処理できた給食牛乳パック量/受け入れた給食牛乳パック量×100】							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	t	単位	%				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					-	-	30	51	-	-	100	100
達成度					113%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.95
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	8,932		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	8,932		
	物件費計	0	0	10,791	12,611	85.6%
	歳出計	0	0	19,723		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	10,791	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	10,791	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	12,611	

### 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定を上回る結果であった。人員が不足しているなか搬入量が想定を上回ったが、適正な人員配置により、受入れた牛乳パックは、すべて破砕処理機で適正処理を行い搬出することができた。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和4年4月から学校給食の牛乳パックは自治体で処理しなければならないこととなり、各学校から回収し穂谷川資源循環センターへ搬入された牛乳パックについては、破砕・洗浄処理作業を行い公民連携（協定）に基づき製紙会社にてダンボール等に再生を行う。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 625

事務事業名称	穂谷川資源循環センター資源循環業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	25.ごみを減らし、資源の循環が進むまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	廃棄物清掃に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	穂谷川資源循環センターのごみ処理により、環境に影響を受ける市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題				
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	穂谷川資源循環センターに搬入される市民持込ごみや空き缶・びん・ガラス類及び使用済小型電子機器、水銀廃製品等を適正な分別処理を行い、資源化することでごみの減量化を図る。				
事業概要	<p>施設の概要                      名称:穂谷川資源循環センター                      所在地:枚方市田口5丁目1番1号 敷地面積:38,941㎡                      主な施設:資源ごみ置場(平成17年3月22日開設 鉄筋造(平屋建)570㎡</p> <p>穂谷川資源循環センターに搬入される市民持込ごみや空き缶・びん・ガラス類及び使用済小型電子機器、水銀廃製品等の資源化。                      (市民持込みごみについては分別した後の可燃物は第3プラントで焼却処分し、不燃物は東部資源循環センターへ搬送し破碎処理、残る鉄類等は売払い処理している。)</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						適正に分別したものの内、資源化 物として適正に処理する。				受け入れた市民持込ごみを可燃 物、不燃物、資源物に適正に分別 してごみ量を減らす。				
指標設定	指標説明					受入量に対する資源化量の割合 【算出式:資源化量/受入量× 100】				市民持込ごみの受入量				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績							10.82				409	
	達成度					108%				91%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						資源化物として適正に処理する。				空き缶・びん・ガラス類及び使用済み小型電子機器、水銀廃製品等について受け入れる。				
指標設定②	指標説明					受入量に対する資源化量の割合 【算出式:資源化量/受入量×100】				受入量				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績							100	100			3,000	3,000
	達成度					100%				99%				
									100	100			3,000	3,000
								100				2,976		

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.35
再任用	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	0	12,560		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	12,560		
	物件費計	0	0	48,962	56,216	87.1%
	歳出計	0	0	61,522		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	233	369	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	233	369	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	48,729	55,847	

### 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであるが、受入れ量は想定より減少しているものの資源化物への適正処理率は増加しており、効率的で適正な執行ができた。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地球環境問題の影響により、今後についても資源化やごみ分別は重要であり、適切な分別及び適切な資源化に努め、ごみの減量化を図る。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 877

事務事業名称	穂谷川資源循環センター運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	穂谷川資源循環センター		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市廃棄物の減量及び適正処理の促進に関する条例、労働安全衛生法、地方自治法、枚方市事務決裁規定、公害健康被害の補償等に関する法律等				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	工場職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に執行する。				
事業概要	穂谷川資源循環センターの運営事務を効率的に執行し、ごみ処理経費の諸経費を適正に運営する。①市議会・職員団体等の調整及び交渉②行政評価及び事業計画の作成③庁内外への照会・回答④庶務事務等、を適正かつ効率的に執行する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	4.30
再任用	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	37,956	37,116		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	37,956	37,116		
物件費計	—	6,721	5,300	5,759	92.0%	
歳出計	—	44,677	42,416			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	6,721	5,300	5,759		

### 5. 総括的分析

総括的分析	所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に執行した。
-------	--------------------------

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	所管事務及び庶務事務を適正かつ効率的に執行する。